

高瀬神社社報

越中一宮



第32号

平成24年1月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 輝氏



年頭講話

「ゆく年くる年に思いを」

宮司 藤井秀弘

新年明けましておめでとうございます。

平成二十四年の年頭にあたり皇室の弥栄、国家の隆昌、氏子崇敬者各位のご多幸をお祈り申し上げます。

厚さが二センチほどあった「日めくり」が、気がつくとき数枚を残すのみとなっていて、いつの間にか一年が過ぎ去ろうとしていることに驚きながら、新しい「日めくり」を用意している自分がいます。月日の流れは早く、

うつかりと過ごしていると、瞬く間に時が過ぎてしまいます。昨年は災害の多い年でした。三月には東日本大震災、九月には近畿地方南部の台風被害、海外ではタイ国の大洪水などがあり、自然の恐ろしさを思い知らされました。そして、あの大きな地震や津波からもうすぐ一年になろうとしています。この間、復興に向けて、被災者自らはもちろんのこと、全国からあらゆる団体や個人の方々がボランティアとして駆けつけ、奮闘しました。復興作業は進んでいるものの、原発事故の影響などもあり、

完全復旧はまだまだ先のことになりそうです。傍から見ても気が遠くなるのに被災者であればなおさらのことです。希望をもつて頑張っている被災者の方々やボランティアに携わる方々の姿をテレビなどで目にするたびに、できる限りの支援を長く続けること、そして、被災地におられる方々の上に長く思いを致すことが大切であるとあらためて思いました。

昨年を表す漢字が「絆」となりました。震災直後の被災者の助け合う様子や自治体・警察・消防・自衛隊・ボランティアの方々の献身的な作業の様子などから、人と人との繋がりが、支えあいによって生活がなりたっていることを実感しました。他人事と思っても見えない絆で繋がっていて、多くの人々、たくさんの方々に助けられて生かされているのです。震災前までは、自分が良ければそれで良いという利己的な考え方が多かったと思います。しかし、震災後は他人のため、世間のために働くことの大切さ、それが自分を生かす道であり、他人からあてにされ、必要とさ

れることが生きがいなのだと思えさせられたのではないのでしょうか。現在の日本に必要なのは、これからの「絆」なのです。少子高齢化など社会問題は様々ありますが、どの問題も他人を思いやること、絆を深めることで解決されることが多々あると思います。当神社の御祭神は縁結びの大神様である大国主命（大国様）です。結びの御神徳が更に広がり、人々の絆が深まるよう日々祈願して参りたいと思います。

さて、今年は壬辰（みずのえたつ）の年です。「壬」という字は、「妊」に通じ、植物の内部に新しい種子が生れた状態を表しているそうです。また「辰」という字は、陽気がよくやく盛りとなり、それまで伸び悩んだ草木が変化伸張する状態を表しているとされるそうです。来年は、これらの字に因み、新たな日本の再生の年となるよう、切に願っています。心して日を過ごさなければ、厚みのある「日めくり」があつという間に薄くなり、何もしないうちにまた次のお正月がやってくることになってしまいます。被災地の復興という希望の種が蒔かれ、芽が出ています。これを大きく育て、一日も早く、完全復興という大輪の花を咲かせられるように被災地へ心をむけ、できる限りの支援を続けて、毎日を有意義に過ごしたいものです。

謹賀新年

平成二十四（壬辰）年
皇紀二六七二年

宮司 藤井秀弘

権宮司 藤井秀嗣

禰宜 齊藤直己

全 河合正登

権禰宜 浦 泰宏

全 長谷川宏幸

巫女 南部有希

全 藤井友希

全 今井映里奈

事務員 黒田三津子

囃 託 岩倉友子



祭 事 録

例 祭

去る九月十三日、例祭が斎行され、富山県神社庁長尾崎定輝氏をはじめ氏子・崇敬者六十名が参列しました。

宮司祝詞奏上につづき、巫女による神楽「浦安の舞」が奉奏され、「高瀬神社奉賛歌」をコーラスグループ「ソット・ヴォーチェ」の先導により、参列者一同で奉唱しました。

引き続き功霊殿例祭が斎行され、井波松風会による吟詠（「凱旋」「一声の仁」）奉納があり、遺族会会員八十名とともに御英霊に感謝の誠心を捧げました。



献 茶 祭

去る十月三十日、「高瀬神社献茶奉賛会」の御奉仕により、「第三十八回献茶祭」が斎行されました。

拝殿では、表千家流の城宝義光氏のお点前により、御神前に濃茶・薄茶が供えられました。

また、古儀茶道数内流竹風会小矢部支部川島恵子社中、五葉会により「茶席」が設けられ、会員をはじめ、晩秋の一服を楽しむ茶道愛好家約三〇〇名の方々と、御社頭は賑わいました。



新 嘗 祭

去る十一月二十三日、新嘗祭が斎行され、井波地域中核農業士協議会（池田喜昭会長）より献穀田で収穫された「コシヒカリ」と「白酒」が供えられました。祭典では、砺波地区農業協同組合協議会から幣帛が供えられ、齋田一除福光農業協同組合長が奉幣使として御奉仕されました。

また、恒例の篤農家表彰と献穀田奉耕者への感謝状贈呈がありました。



（篤農家表彰）

仲筋 英生 殿（南砺市土生新）

山下 豊作 殿（南砺市是安）

（感謝状授与）

岩崎 修 殿（南砺市岩屋）

祭 事 暦

《平成二十四年》

一月 一日	歳旦祭	一月 三日	元始祭	一月 七日	昭和天皇祭	一月 二十五日	天神祭	二月 三日	節分祭	二月 十一日	紀元節祭	二月 十七日	祈年祭	三月 八日	鎮火祭	三月 二十日	春季天皇祭	四月 三日	神武天皇祭	四月 十日	春分祭	四月 二十日	昭和天皇祭	五月 十日	祈年穀祭	五月 十九日	風宮例祭	六月 十日	夏越大祓	六月 十九日	稲荷社例祭	七月 十五日	人形感謝祭	七月 二十一日	除熱祭	八月 七日	七夕祭	八月 十六日	中秋祭	九月 十三日	例祭	九月 二十三日	秋季皇霊祭	十月 七日	村まつり	十月 十七日	神嘗奉祝祭	十月 二十一日	献茶祭	十一月 三日	明治節祭	十一月 十五日	神明宮例祭	十一月 二十三日	七五三祝祭	十二月 三日	新嘗祭	十二月 十三日	天長節祭	十二月 二十三日	師走大祓	十二月 三十一日	除夜祭
-------	-----	-------	-----	-------	-------	---------	-----	-------	-----	--------	------	--------	-----	-------	-----	--------	-------	-------	-------	-------	-----	--------	-------	-------	------	--------	------	-------	------	--------	-------	--------	-------	---------	-----	-------	-----	--------	-----	--------	----	---------	-------	-------	------	--------	-------	---------	-----	--------	------	---------	-------	----------	-------	--------	-----	---------	------	----------	------	----------	-----

◎ 毎月一日・十三日 月次祭
◎ 毎月十三日 交通安全祈願祭

杜のにぎわい

剣道大会

秋風さわやかな九月十八日、「第四十九回奉納剣道大会」が開催され、砺波地区の小中高校生の約一八〇名の剣士により団体戦と個人戦の熱戦が繰り広げられ、日頃の練習の成果を競い合いました。試合に先立ち、拝殿で奉告祭が斎行され、前年度団体の部優勝校の出町中学校の生徒二名により日本剣道形が奉納されました。



尚、試合結果は次の通りです。

《団体の部》—敬称略—

- ▽小学生男・女
- ①井波剣道スポーツ少年団
 - ②晴武館
- ▽中学生男子
- ①井波中学校
 - ②津沢中学校
 - ③出町中学校

- ▽中学生女子
- ①井波中学校
 - ②出町中学校



《個人の部》

▽小学生男子

- ①長原 瑛吾 (砺波)
- ②水口 脩弥 (井波)
- ③宮本 迅 (福野)
- 中山 智祐 (井波)

▽小学生女子

- ①岩崎 葵 (砺波)
- ②扇割 加奈 (庄川)
- ③白山 莉子 (庄川)
- 藤森 美希 (庄川)

▽中学生男子

- ①篠原 風斗 (井波中)
- ②山田 誠一 (井波中)
- ③澤 宗馬 (井波中)
- 赤倉 凱斗 (庄西中)

▽中学生女子

- ①青山 萌 (井波中)
- ②野原 果鈴 (井波中)
- ③青山 若葉 (井波中)
- 加納英莉那 (福光中)

▽高校生男子

- ①島田 裕己 (福野高)
- ②篠原 天馬 (福野高)
- ③谷口 慶祐 (福野高)
- 米田 隼 (砺波工高)

▽高校生女子

- ①西尾 美香 (福野高)
- ②水口 妃奈 (福野高)
- ③湯浅 真澄 (福野高)
- 松山 佳苗 (砺波高)

観月祭(仲秋の名月)

去る九月十日、午後六時四十五分より、「第二回・観月祭」が斎行され、高瀬高宝会による謡曲、巫女による神楽舞、鳳鳴クラブによる雅楽が奉納されました。当日はあいにくの雨模様でしたが、約八十名が参列し、月見団子や御神酒を味わいつつ、仲秋のひとつきを楽しみました。



【謡曲・仕舞】高瀬高宝会

仕舞・羽衣、謡・三井寺

【御神楽】高瀬神社巫女

四方拝、胡蝶の舞

【雅楽・管絃】鳳鳴クラブ

平調音取、五常楽急、

壹越調音取、胡飲酒破

迎春

株式会社ゴールドウイン

相談役 西田 東作

センダン電子(株)

代表取締役会長 武田 修
代表取締役社長 武田 武美
砺波市庄川町五ヶ四四〇
TEL(〇七六三) 八二一五一一三〇

祝儀料理 鮮魚仕出し 福光屋

南砺市山見一七二〇
八二一五〇八二アスモ店
TEL(〇七六三) 八二一〇七〇六(住出し部)

越中一宮高瀬神社指定 南部スタジオ

南砺市山下二七
TEL(〇七六三) 八二一〇一一三〇
富山店 南部スタジオ
富山市五福六区一八四五十一
TEL(〇七六) 四三二一一八五五

宝石・記念品

あづちや

南砺市本町三十四八
TEL(〇七六三) 八二一〇三六六

献穀田だより

抜穂祭

去る九月二十

四日、井波地域

中核農業士協議

会（池田喜昭会

長）による「抜

穂祭」が、南砺市岩屋の岩崎修

氏（本年奉耕者）の献穀田に於

いて斎行されました。

権宮司の祝詞奏上につづき、

豊かに実った斎田が祓い清めら

れ、関係者が見守る中、「御田

植祭」で植えられた「コシヒカ

リ」の稲を五名の早乙女（西田

瑠璃さん、岩元祐季奈さん、沢

田絵莉奈さん、佐野佑季さん、

横江胡桃さん）が丁寧に刈り取

りました。

収穫された稲は、十月十七

日、伊勢の神宮へ「神嘗祭」の

「懸税（カケチカラ）」として奉

献され、十一

月二十三日に

は「新嘗祭」

で御神前にお

供えされまし



初穂曳奉仕

去る十月十五日、三重県伊勢

市で「第四十回初穂曳」が行わ

れ、氏子の大和秀夫ご夫妻・浦

権欄宜の三名が「二日神領民」

として参加しました。

全国から収穫された初穂米満

載の「曳車」を威勢のいい木遣

りで曳き、献穀田で収穫した

「コシヒカリ」の稲束を伊勢の

神宮へ納め、神恩感謝の誠心を

捧げました。

前日には二見興玉神社・御鹽

田神社を参拝し、神宮御園・神

宮神田を見学いたしました。

また、神宮徴古館では、神宮

神職により由緒や御神宝につい

て懇切丁寧に説明をいただきました。



平成二十三年度

全国一宮会総会開催

去る九月五日、阿波の地（徳

島県）にて「全国一の宮会総会」

が開催されました。当日は阿波

国一の宮・大麻比古神社で正式

参拝の後、ホテルクレメント徳

島にて、飯田清春会長（真清田

神社宮司）を議長に総会が開催

されました。続いて、阿波忌部

末裔・三木信夫先生より「大嘗

祭と鹿服」と題して記念講演が

行われました。

懇親会ではご当地の「阿波お

どり」が披露され、参加者も輪

に加わり、おどり場となった会

場は大いに盛り上がり、同時に

に、会の更なる発展に向け結束

が深められました。



迎 春

婚礼着付

ノビアデサロンみたに

南砺市北川一八五二

TEL(〇七六三) 八二一〇四二三

糸巻御所落雁本舗

河内屋菓子舗

南砺市本町一の三四

TEL(〇七六三) 八二一〇四〇二

ブライダルサロン

アマノ

高岡市大手町二一八（寝町通り）
TEL(〇七六六) 二四一四一一四

(株)林クリーニング

南砺市本町三丁目一四番地
TEL(〇七六三) 八二一〇二八九

全国にあなたの花をお届けします

花キューピット

ミナミフラワースイップ

アミ店 TEL(〇七六三) 二二一六三八八
FAX(〇七六三) 二二一六三八八

参 拝 日 誌 抄

(敬称略)

(平成二十三年九月～十一月)

「九月」

- 四日 高坂地区神社氏子会(埼玉県)
高坂神社
宮司 澤田 聡光殿
以下三十三名
- 八日 明治神宮崇敬会
理事長 男成洋三殿
総務課長 植松克巳殿
- 十日 南砺市遺族会井波支部ご一同
(清掃奉仕)
南砺市遺族会福野支部ご一同
(清掃奉仕)
- 十一日 氏子清掃奉仕(村総出)
日枝神社
宮司 平尾 旨明殿
- 十二日 立正佼成会(清掃奉仕)
- 十四日 法華寺崇敬会ご一同(大阪市)
二十五名
- 十八日 第四十九回奉納剣道大会
(奉告祭)
- 二十六日 尾張富士大宮浅間神社(愛知県)
宮司 山田 健殿
以下二〇〇名

「十月」

- 二十九日 (財)敬愛まちづくり財団
理事長 堀 秀也殿
- 五日 出町中学校二年生ご一同
七十四名(町内史跡探訪)
- 六日 岡田神明社(愛知県)
宮司 大島 大東殿
以下十九名
- 八日 大建工業(株)
理事 井 辺 博行殿
砺波高等学校ご一同(合格祈願)
- 九日 井波ウォーキング大会
二一〇名
- 十三日 立正佼成会ご一同(清掃奉仕)
- 十六日 茶道裏千家淡交会
高岡支部となみ野青年部ご一同
(素人達の大茶会)
- 十九日 大門高等学校三年生ご一同
一一八名(遠足)
- 二十六日 神社庁砺波支部ご一同
(神宮大麻頒布始奉告祭)
栄潤寺(西宮市)
住職 吉井 恵 貫殿
以下十八名
- 二十八日 普明会教団高岡支部ご一同

「十一月」

- 一日 鈴木徽章工芸(株)
取締役社長 鈴木 健之殿
- 十三日 立正佼成会ご一同(清掃奉仕)
- 十四日 井波小学校二年生ご一同
八十名(町内史跡探訪)
- 十六日 渋谷区神社総代会
会長 内田 慶一殿
以下二十二名
- 二十一日 長田神具店
代表取締役 長田 正勝殿
(神棚奉納奉告祭)
- 二十七日 里芋おはぎ茶会
- 二十九日 (株)イデアコーポレーション
代表取締役社長 池田 喜紀殿
(株)イデアトランスポートサービス
代表取締役社長 土屋 壮一郎殿
(株)ワイズコーポレーション
代表取締役社長 山下 周 吾殿



迎 春

田 島 の し 店

砺波市本町七一四
TEL(〇七六三)三三二二五二〇

おいしいお菓子の研究所

(株)ミツシュローゼ

代表取締役社長 杉原 徹
TEL(〇七六三)二二三三八八八

牧 印 刷 株 式 会 社

南砺市理休三三三二一
TEL(〇七六三)六二一〇一一二
FAX(〇七六三)六二一三三八二三

(株)ジオミックス

広告事業部 PRプランニング
小矢部市下中一三八
TEL(〇七六三)六七一八六七

看板とイベント・宣伝の
オーバル

砺波市庄川町金屋一三〇五
TEL(〇七六三)八二四二二二

⑦ <http://www.takase.or.jp/>

シリーズ

高瀬の今昔 ⑪

いまむかし

「祈年穀報祭のこと」

きねんくほつさい

高瀬神社では一年を通して多くの神事・行事があり、殊に祭典は古式のままに滞る事なく、厳粛に執り行われてきました。しかしながら、時代の変化や事情により戦前から戦後にかけて、二つの恒例祭が行われなくなりました。一つは、県社から国幣小社へと社格（神社の格式のこと）で、明治四年、太政官布告により定められ、昭和二十一年廃止の昇格を記念して行われた「昇格記念祭」。もう一つは、「祈年穀報祭」というお祭りです。

この「祈年穀報祭」とは、当神社で毎年六月十日に斎行されます「祈年穀祭」と名称が似ておりますが、イナゴによる農作物への災いを防ぎ豊作を祈る「祈年穀祭」に対して、「祈年穀報祭」は神様の

御神徳により災いなく実った、作物への感謝と神恩奉養（御礼）をする祭典です。明治十九年より毎年十一月二十二日に行われたこのお祭りは、御神威と熱誠により当時稀なる豊熟を得たその徳を賛美し、両砺波郡内各戸より献米し、一般休業にて参拝していたと記録されております。終戦より、このお祭りは十一月二十三日の新嘗祭にあわせて行われるようになりまして、今も大神様への御報祭（御礼祭）として、受け継がれております。

（権欄宜 長谷川宏幸記）



昭和26年11月23日

東日本大震災
災害復興支援活動報告

昨年は大地震や台風による自然災害が頻繁に起こり、全国各地で甚大な被害がありました。

三月十一日の東日本大震災発生以降、当神社において、毎日の復興祈願祭や義捐金活動等を継続して行っておりました。

また、富山県神社庁・富山県神道青年会の災害復興支援活動において、当神社からも、毎月職員を派遣し（岩手県大船渡市、宮城県南三陸町、福島県南相馬市）、ボランティアセンター



や被災神社での活動に協力しています。

国難とも言える大災害に加え、国内の政局不安や経済の低迷により、未だ復興への道筋が不明となっておりますが、大神様の御加護のもと、今後も出来る限りの支援を続けてまいりますので、氏子崇敬者の皆様には、更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。被災地の日も早い復興をご祈念申し上げます。

ご案内

節分祭(豆まき)

二月三日

午後三時斎行

ご家族お揃いでご参列下さい。



平成二十四年厄年

本年は次の通りです。

(男性)

二十五歳

前厄 (昭和六十四年生)

(平成元年生)

本厄 (昭和六十三年生)

後厄 (昭和六十二年生)

四十二歳

前厄 (昭和四十七年生)

本厄 (昭和四十六年生)

後厄 (昭和四十五年生)

(女性)

十九歳

前厄 (平成七年生)

本厄 (平成六年生)

後厄 (平成五年生)

三十三歳

前厄 (昭和五十六年生)

本厄 (昭和五十五年生)

後厄 (昭和五十四年生)

三十七歳

前厄 (昭和五十二年生)

本厄 (昭和五十一年生)

後厄 (昭和五十年生)

戌の日(安産祈願)

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
十四日	七日	二日	十六日	九日	二日	二十七日	二十日	十三日	六日	三十日	二十三日
二十日	十三日	六日	三十日	二十三日	十六日	九日	二日	二十六日	十九日	十二日	五日

腹帯のお祓いも行いますので
ご持参下さい。

奉納

○「初穂米」十キログラム

南砺市高瀬

岩倉 勲殿

九月十九日

○「神棚」一字

砺波市五郎丸

長田神具店

代表取締役 長田正勝殿

十一月二十一日



○「神饌米」二二〇キログラム

南砺市

井波地域

中核農業士協議会殿

南砺市岩屋

岩崎 修殿 (献穀田奉耕者)

南砺市高瀬

岩倉和弘殿

十一月二十三日

○「干支(辰)大絵馬」

南砺市山下

南部写真館

南部 栄殿

富山市古鍛冶町

大谷美術学園

園長 大谷弓子殿

十二月十八日

○「大注連縄」一張

射水市北高木

(株)日吉プランナー

代表取締役社長

折橋康洋殿

○「国旗」一枚

南砺市高瀬

大和彌寿夫殿

十二月二十二日

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
昨年は、「卯年」ともあり、新年から「なでうさぎ」を撫でられる大勢の参拝者で御社頭は賑わいました。
しかしながら、春以降、大地震や台風などの災害に見舞われ、人間の自然に対しての無力さを大いに感じさせられた一年でありました。
本年の「壬辰歳」は大神様の御加護を戴き、日々平穏に暮らせるよう、神々に祈らずにはおられません。

【表紙写真】

干支(辰)大絵馬と

大谷美術学園の皆さん

ブライダルフェア 及び 相談会情報

1月

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

3月

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

毎月一のつく日は 一宮フェア

神前式リハーサル体験会

①13時～ ②14時～ ③15時～



土日相談会

10時～16時

平日相談会

10時～16時

特別御招待会

10時～17時

和婚フェア

10時～17時

14時 模擬式

和装試着 &
ヘア(カツラ)体験
(要予約)

2/19(日) 午前10時～午後5時

和婚フェア

和装試着 &

ヘア(カツラ)体験



予約不要のイベント

披露宴会場見学、演出体験、
婚礼相談など

午後2時～模擬結婚式

午後3時～ブライダルマジックショー

